【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【公開番号】特開2018-125729(P2018-125729A)
【公開日】平成30年8月9日(2018.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2018-030
【出願番号】特願2017-16973(P2017-16973)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/232　９４１
Ｈ０４Ｎ　5/232　９４５
Ｇ０３Ｂ　17/02
Ｇ０３Ｂ　17/18　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和2年1月8日(2020.1.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像手段が撮像している映像を表示する表示手段と、
前記表示手段が表示している映像に対して境界を設定する境界設定手段と、
前記撮像手段での撮影範囲の変化を検知する検知手段と、
前記表示手段に表示される前記撮影範囲が前記境界設定手段により設定された境界の外側を含まない状態で前記撮影範囲が前記境界の内側から前記境界に近付いた場合に、該境界に近づいていない場合とは異なる表示により通知を行う通知手段と、を有する
ことを特徴とする撮像制御装置。
【請求項２】
前記通知手段による通知は、前記表示手段にグラフィックスを表示して行うものであることを特徴とする請求項１に記載の撮像制御装置。
【請求項３】
前記グラフィックスは、前記境界設定手段により設定された境界を示す第１の線分と、前記通知手段による通知を開始する境界であり、前記境界設定手段により設定された境界に内包される境界を示す第２の線分とのうち、少なくとも前記第２の線分を含むことを特徴とする請求項２に記載の撮像制御装置。
【請求項４】
前記グラフィックスは、更に、前記第１の線分と前記第２の線分の間に表示される１以上の線分であって、前記第２の線分から前記第１の線分に近づくにつれ、透過度、色彩、及び隣り合う線分との間隔の少なくともいずれかが変化するものを含むことを特徴とする請求項３に記載の撮像制御装置。
【請求項５】
前記表示手段はタッチディスプレイを含み、
前記境界設定手段は、前記タッチディスプレイへの撮影者によるタッチ操作により境界

を設定することを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の撮像制御装置。
【請求項６】
前記境界設定手段は、更に、前記タッチディスプレイへの撮影者によるタッチ操作により、前記通知手段による通知を開始する境界を設定可能であることを特徴とする請求項５に記載の撮像制御装置。
【請求項７】
前記表示手段に表示される前記撮影範囲が前記境界設定手段により設定された境界を含む場合に、見切れを含むことを示すデータを、前記撮像手段が撮像している映像の映像信号に関連づけて出力する出力手段を更に有する、ことを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の撮像制御装置。
【請求項８】
撮像している映像が放送または記録されている状態であるかを判定する判定手段を更に有し、
前記通知手段は、前記判定手段により、撮像している映像が放送または記録されている状態であると判定された場合、前記通知手段による通知の表示態様を、該状態でないと判定した場合と異ならせることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の撮像制御装置。
【請求項９】
前記境界設定手段により設定された境界に基づいて、前記通知手段による通知を開始する境界を決定する決定手段を更に有することを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の撮像制御装置。
【請求項１０】
前記決定手段は、前記境界設定手段により設定される境界が設定されたことに応じて、前記通知手段による通知を開始する境界を決定することを特徴とする請求項９に記載の撮像制御装置。
【請求項１１】
前記通知手段は、前記表示手段に表示される前記撮影範囲が、前記通知手段による通知を開始する境界を含む場合に、前記異なる表示により通知を行うことを特徴とする請求項９又は１０に記載の撮像制御装置。
【請求項１２】
前記検知手段は、撮影者のズームアウト操作に基づいて前記撮影範囲が広くなる場合の該撮影範囲の変化を検知することを特徴とする請求項１から１１のいずれか１項に記載の撮像制御装置。
【請求項１３】
前記検知手段は、加速度、地磁気、ジャイロ計測の少なくとも１つに基づいて前記撮像手段での撮影方向を検知する撮影方向センサーの検知結果に基づいて前記撮影範囲の変化を検知することを特徴とする請求項１から１２のいずれか１項に記載の撮像制御装置。
【請求項１４】
表示手段が、撮像手段が撮像している映像を表示する表示工程と、
境界設定手段が、前記表示手段が表示している映像に対して境界を設定する境界設定工程と、
検知手段が、前記撮像手段での撮影範囲の変化を検知する検知工程と、
前記表示手段に表示される前記撮影範囲が前記境界設定手段により設定された境界の外側を含まない状態で前記撮影範囲が前記境界の内側から前記境界に近付いた場合に、該境界に近づいていない場合とは異なる表示により通知を行う通知工程と、を有する
ことを特徴とする撮像制御装置の制御方法。
【請求項１５】
コンピュータを、請求項１から１３のいずれか１項に記載された撮像制御装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【請求項１６】

コンピュータを、請求項１から１３のいずれか１項に記載された撮像制御装置の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
この課題を解決するため、例えば本発明の撮像制御装置は以下の構成を備える。すなわち、撮像手段が撮像している映像を表示する表示手段と、表示手段が表示している映像に対して境界を設定する境界設定手段と、撮像手段での撮影範囲の変化を検知する検知手段と、表示手段に表示される撮影範囲が境界設定手段により設定された境界の外側を含まない状態で前記撮影範囲が前記境界の内側から前記境界に近付いた場合に、該境界に近づいていない場合とは異なる表示により通知を行う通知手段と、を有することを特徴とする。